

様式第 2 号(第 10 条関係)

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

平成 2 9 年度第 4 回本匠地域振興審議会

2 開催日時

平成 2 9 年 1 1 月 2 1 日(火) 1 9 時 0 0 分から 2 1 時 3 0 分まで

3 開催場所

所在地 佐伯市本匠大字波寄 2 6 8 5 番地

会場名 本匠振興局 2 階 大会議室

4 出席者

会長：河原博秋 副会長：高野隆正

委員：川野圭一郎、三原志保、中山 淳、柴田浩美、磯川利恵子、

1 0 名中 7 名出席

(市職員)

本匠振興局長：出納 司

地域振興課：菅原直道、品矢光賢、甲斐龍一郎

地域おこし協力隊：川野幹雄

計 5 名

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

0 人

7 議題及び結果

議題

(1) 第 2 次佐伯市総合計画（地域別計画）の策定について

(2) その他

8 審議の内容

(1) 第2次佐伯市総合計画（地域別計画）の策定について

事務局より前回までの意見を元に作成した地域別計画案について審議会へ報告を行なった。

《会議内容》

事務局：地域別計画案について説明致しましたが、1【現状と課題】から意見と質問をお願いします。

委員：「自然との共生のバランスを保ちながら整備を行なう」とありますが、なにを整備するのですか。

委員：河川の護岸を造る際に全面コンクリートで覆うのではなく、自然や動植物の共存できるように配慮した計画を作るという事ではないでしょうか。

事務局：本匠の魅力は自然ですから、それを損なわないように防災対策を進める必要があります。そのことを総合計画の中に入れるため先の文を付けました。

委員：共生のバランスという表現は似たような言葉が続くため、共生のみでよいと思います。

委員：計画の中で本匠地域と本匠地区の表現が入り混じっていますが、どちらかに統一した方が良いのではないのでしょうか。

事務局：本匠地域で統一したいと思います。

委員：最後の「地域外から交流も含めた移住定住を進める事も大切と考えます。」の部分ですが、対策まで述べているようで違和感があります。

事務局：その部分は皆さんのとらえ方が様々にあるようなので削除したいと思います。続きまして、2【これからの基本方針】について意見や質問をお願いします。

委員：IT 関連企業の誘致と有りますが、どのようなものか想像しにくいですね。

事務局：全国的にインターネットを利用した販売を行なう企業が、山間部に支店を移す流れが起きています。本匠に工場などを誘致する事は面積的に厳しいですが、IT 関連企業ならば PC 1 台あれば仕事出来るため。空き家や廃校舎にも利用者が来る可能性が

あります。

事務局：では3【主な取組】について審議をお願いします。

委員：Wi-Fiとはなんですか。

事務局：無線でインターネットが使える回線の事です。観光エリアに設置する事により、観光客が観光地の宣伝をインスタやフェイスブックに載せる機会が増し、集客力の向上が見込めます。

委員：県道三重弥生線の早期改良と有りますが、奥の方はやらないのですか。

事務局：特に早期改良を行なってほしい区間を記載しています。波寄小半区間は一車線で交通の便が悪く、台風による被害も多い所であることが理由です。

委員：スポーツツーリズムとはどのようなものですか。

事務局：本匠地域はサイクリングやクライミングを行なう方からの人気が高く、それらのスポーツを行なう環境を整えることでスポーツ目的の来訪者を増やし、観光客として呼び込む取り組みです。

委員：本匠の川の魅力を前面に押し出すのであれば、カヌーもスポーツツーリズムの一例としてあげた方が良いと思います。

事務局：そのようにします。続いて4【重点プロジェクト】について意見ををお願いします。

委員：重点プロジェクトに地域の特産品の消費拡大を入れた方が良いのではないのでしょうか。

事務局：体験観光ルートの構築により、交流人口を増やし、それを地域経済の活性化に繋げていこうという思惑です。

委員：観光客数が爆発的に増え、何もせずとも地場産業が活性化するのであれば良いのですが、そうはならないでしょう。なので、その先の目的を重点プロジェクトの中に盛り込むべきだと思います。

委員：【現状と課題】の所にある、農林業の衰退については重点プロジェクトに盛り込まなくて良いのですか。

事務局：佐伯市全体の総合計画が作られますが、本匠も独自の計画を作るべきという事でしょうか。

委員：重点プロジェクトですから、あれもこれもと目的を広げ過ぎず、スマートな形にしているのではないですか。

委員：そうですね、重点プロジェクトの目玉として据えるのではなく、一次産業について言及するかしないかの問題だと思います。それよりも重点プロジェクトで観光客を引きこみ、どのように地域に還元するのかを話し合った方が良いと思います。

委員：地域の活性化に加え、地場産業の活発化をつけたらどうでしょうか。また、中段に目標が書かれているので、これを文末に移動させた方が良いと思います。

事務局：では、「これらの計画により地域の活性化を図り、地場産業を活発化していきます。」という文を重点プロジェクトの結びに付けたいと思います。

委員：いろいろ目的を入れ過ぎると3【主な取組】と同じ中身になりますから、このくらいでいいと思います。

委員：5【目標指標】の観光客数はどこで集計した値ですか。

事務局：各観光施設とほたる鑑賞客や遊泳客などを合わせた数です。毎年10%ずつ増加させることを目標にします。

事務局：キャッチフレーズについて意見はありませんか。

委員：「水あそび」だと夏限定というイメージではないですか。

事務局：ぱっと見てイメージが膨らみやすい文章を付けました。「最高の水あそび」は本匠が源流である番匠川の美しい自然環境や観光地のPRを盛り込み、「用意しよう」は地域みんなで自然環境を守っていこうという意気込みなどを表しています。

委員：頭に「さあ」や「よし」といった掛け声があった方が良いと思います。

委員：何だろうと考えさせるのが、ひょっとしたら良いのかもしれないね。

委員：どこでも使われるようなキャッチフレーズではインパクトが無いですから、これで良いと思いますよ。

事務局：では、我々がやっていくという意気込みをこめて「よし」を頭に付けましょう。

以上の内容で、提出します。

(3) その他

なし

9 会議の資料名

第4回本匠地域振興審議会資料

第2次佐伯市総合計画 本匠地域（案）

10 問い合わせ先

担当課 本匠振興局 地域振興課 電話番号0972-56-5111